

基礎杭や地下連続壁の効果の定量的な算出について

令和2年（2020年）1月20日

総務局 管財課

(1) 経緯

- ・ 前回の特別委員会において、「齋藤参考人の意見に基づく基礎杭の密集効果や地下連続壁の効果を定量的に算出するのに、どのような調査が可能か検討する」としたことから、国内大手の建築設計コンサルタント5社、本庁舎建設時の設計を担った(株)山下設計に対して調査業務の実施が可能か、検討を依頼し、うち2社が応諾したものの。

(2) これから取り組む調査概要

○調査内容

基礎杭の密集効果や地下連続壁の効果について、定量的な算出を試みるもの

○必要経費

約2～3千万円 ⇒ 令和元年度予算の2月補正により対応

○必要期間

約6カ月 ⇒ 令和2年9月頃に調査結果を特別委員会へ報告予定

○備考

なお、算出結果に対しては指定性能評価機関の見解等を確認したうえで、その妥当性を検証する